＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	十津川郷土（さと）の家
グループの名称	十津川郷土（さと）の家ネットワーク
直近採択グループ番号	06-0224-0588

（グループ代表者）

代表者名	代表理事組合長　榊本　正文　　代表者印
代表者所属先	十津川村森林組合
代表者所在地	奈良県吉野郡十津川村折立631番地の1
代表者電話番号	0746-64-0301

（グループ事務局）

事務局事業者名	十津川村森林組合　木材加工流通センター
事務局担当者名	田垣　あすか　　印
事務局郵便番号	637-1105
事務局所在地	奈良県吉野郡十津川村林460番地
事務局電話番号	0746-68-0770
事務局FAX	0746-68-0771
事務局担当者E-mail	totsukawa-shinrin.hayashi@kcn.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	十津川郷土(さと)の家
２．グループの名称(必須)	十津川郷土(さと)の家ネットワーク
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0224-0588
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	全国
５．結成年(必須)	2008　年
６．グループ代表者名(必須)	代表理事組合長　榊本　正文
７．グループ代表者の所属先(必須)	十津川村森林組合
８．グループ代表者所在地(必須)	奈良県吉野郡十津川村折立631番地の1
９．グループ代表者電話番号(必須)	0746-64-0301
１０．グループ事務局事業者名(必須)	十津川村森林組合　木材加工流通センター
１１．グループ事務局担当者名(必須)	田垣　あすか
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	637-1105
１３．グループ事務局所在地(必須)	奈良県吉野郡十津川村林460番地
１４．グループ事務局電話番号(必須)	0746-68-0770
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	0746-68-0771
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	totsukawa-shinrin.hayashi@kcn.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	3	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	4	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	3	
Ⅳ．プレカット	1	
Ⅴ．設計	2	
Ⅵ．施工	13	
Ⅶ．木材を扱わない流通	1	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	□　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	□　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	奈良県産材	奈良県	奈良県地域認証制度	1	国内
	奈良県産材	奈良県	奈良県産材証明制度	1	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上))の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	申込みは事務局への意思表示の先着順とする。受注が確実視されている工務店優先とする。

E．平成２９年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
		採択戸数	8	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
		採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
		採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	優良建築物型									
		採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
		採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
29	Ⅰ － 1	大谷林業		637-1558	奈良県吉野郡十津川村出谷469	0746-64-0438
29	Ⅰ － 2	田中林業		637-1554	奈良県吉野郡十津川村平谷305	0746-64-0004
29	Ⅰ － 24	十津川村森林組合		637-1443	奈良県吉野郡十津川村折立631番地の1	0746-64-0301
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
29	Ⅱ － 3	川津製材所		637-1216	奈良県吉野郡十津川村川津	0746-67-0319
29	Ⅱ － 4	寒川製材		637-1443	奈良県吉野郡十津川村折立67-2	0746-64-0610
29	Ⅱ － 5	東製材		637-1552	奈良県吉野郡十津川村谷垣内219	0746-64-0240
29	Ⅱ － 25	十津川村森林組合　木材加工流通センター		637-1105	奈良県吉野郡十津川村林460番地	0746-68-0770
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
29	Ⅲ － 6	株式会社 丸産業		634-0831	奈良県橿原市曽我町32-2	0744-22-4390
29	Ⅲ － 7	寒川木材		637-1443	奈良県吉野郡十津川村折立67-2	0746-64-0610
29	Ⅲ － 8	ﾀｶﾀﾞﾋﾞﾙﾃｯｸ株式会社		639-2241	奈良県御所市大字茅原78番地の1	0745-62-9783
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
29	Ⅳ － 9	株式会社 奈良木建		630-8145	奈良県奈良市八条5-430-1	0742-33-6332
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
29	Ｖ － 8	ﾀｶﾀﾞﾋﾞﾙﾃｯｸ株式会社		639-2241	奈良県御所市大字茅原78番地の1	0745-62-9783	○	
29	Ｖ － 10	株式会社 和 一級建築士事務所 建築工房 和		639-0276	奈良県葛城市當麻367番地の2	0745-60-2302	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							13	○	○
29	Ⅵ - 11	78145	三共工務店		637-1552	奈良県吉野郡十津川村谷垣内144-2	0746-64-0427		○
29	Ⅵ - 12	78164	泉谷工務店		637-1106	奈良県吉野郡十津川村谷瀬340番地	0746-68-0068		○
29	Ⅵ - 13	78190	柳瀬工務店		637-1216	奈良県吉野郡十津川村川津706-11	0746-67-0309		○
29	Ⅵ - 14	78136	亀本工務店		637-1557	奈良県吉野郡十津川村七色	0735-43-0529		○
29	Ⅵ - 15	78175	田垣建築		637-1553	奈良県吉野郡十津川村山手244-7	0746-64-0918		○
29	Ⅵ - 16	78177	東建築		637-1553	奈良県吉野郡十津川村山手283	0746-64-0714		○
29	Ⅵ - 17	78173	辻建築		637-1661	奈良県吉野郡十津川村重里321-1	0746-66-0014		○
29	Ⅵ - 18	78162	西建築		637-1444	奈良県吉野郡十津川村山手谷265	0746-64-0356		○
27	Ⅵ - 19	76922	株式会社 SPACE LAB		571-0046	大阪府門真市本町39-26	06-6903-5555	○	
29	Ⅵ - 20	78132	株式会社木村建設		632-0058	奈良県天理市成願寺町208-1	0743-67-1703		○
29	Ⅵ - 21	78133	株式会社和		639-0276	奈良県葛城市當麻367番地の2	0745-60-2302	○	
27	Ⅵ - 22	77043	株式会社サンライフホームサービス		569-0814	大阪府高槻市富田町2丁目1番21号	072-693-0666	○	
27	Ⅵ - 23	77075	株式会社ハナハウス		591-8025	大阪府堺市北区長曽根町3081番地31	072-246-3066		○
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
29	Ⅵ － 11	78145	三共工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
29	Ⅵ － 12	78164	泉谷工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
29	Ⅵ － 13	78190	柳瀬工務店	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
29	Ⅵ － 14	78136	亀本工務店	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
29	Ⅵ － 15	78175	田垣建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
29	Ⅵ － 16	78177	東建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
29	Ⅵ － 17	78173	辻建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
29	Ⅵ － 18	78162	西建築	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
27	Ⅵ － 19	76922	株式会社 SPACE LAB	10 戸	10 戸	2 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	
29	Ⅵ － 20	78132	株式会社木村建設	17 戸	20 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
29	Ⅵ － 21	78133	株式会社和	6 戸	7 戸	3 戸	3 戸	1 戸	2 戸	2 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	4以上		○	○
27	Ⅵ － 22	77043	株式会社サンライフホームサービス	48 戸	47 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
27	Ⅵ － 23	77075	株式会社ハナハウス	17 戸	16 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
29	Ⅶ － 8	ﾀｶﾀﾞﾋﾞﾙﾃｯｸ株式会社		639-2241	奈良県御所市大字茅原78番地の1	0745-62-9783
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 十津川郷土（さと）の家	（地域型住宅供給対象地域） 全国
２．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） 十津川郷土（さと）の家ネットワーク	（結成年） 2008　年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0224-0588	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・長期優良住宅の仕様を基準とし、耐震等級2以上、断熱等性能等級4以上を確保する。 認定低炭素住宅・ゼロエネルギー住宅への標準化に向け、省エネ性能向上に向けて取り組んでいく。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・十津川村産材を主要構造材の50%以上を使用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・住宅履歴情報蓄積の義務化　・全棟、地盤調査の義務化、結果に応じた基礎設計を行う。　・住宅完成保証を推奨し、確実に引渡の遂行をする。	◎
④ ①～③の背景	十津川村は全面積の96%（64.543ha）を森林が占め、うち51%（32.915ha）が杉や桧を中心とした人工林となっている。これら人工林のうち80%以上が建築用材に適した7齢級以上となっているが、森林基盤の未発達、急峻な地形によるコストの増加に加え、長期的な木材価格の低迷のため、木材の搬出利用が困難になっている。そのため、放置された手入れの遅れた森林も少なからず存在する。しかしながら、十津川村産材はその寒冷な気候から、目の詰まった高い強度特性を有しており、高齢級の大径木も多く、梁や桁の使用に適している。これらの特性を活かし、無垢材をふんだんに使用した住宅づくりを行う。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	十津川村産材の流通拡大のため、林業の六次産業化を促進し、原木供給者であり、製材所も併設している十津川村森林組合と、需要者である工務店に加え、「十津川村に活気を呼び、十津川の森を元気にする」という趣旨に賛同してもらえる工務店を積極的に募集し、規模拡大を図っていく。十津川郷土の家ネットワークの取り組みを成功させることにより、「十津川村」あるいは「十津川村産材」のブランド力を一定まで引き上げ、さらなる需要拡大を目指していく。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容:	主要構造材、主要羽柄材の寸法を統一し、効率的な生産・供給体制を構築する。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容:	主要構造材、主要羽柄材の寸法を統一し、効率的な生産・供給体制を構築する。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容:	主要構造材、主要羽柄材の寸法を統一し、効率的な生産・供給体制を構築する。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容:	・グループでの共通資材の設定により、コストダウンを図る。 十津川村産材で主要構造材の50%以上使用する。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容:	・グループでの共通資材の設定により、コストダウンを図る。 十津川村産材で主要構造材の50%以上使用する。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容:	郷土の家ネットワークの会議を定期的に行い、供給元の山側と、供給先の工務店側の情報を共有することにより、伐採や製材工場の効率的な計画を作成する。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容:	郷土の家ネットワーク会議の運営のほか、会議を開催していない時期においても、情報を集約化し、特に山側の出荷状況を供給先に対して、メールやFAXを用いて配信を行う。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容:	長期優良住宅の仕様を基準とし、耐震等級2以上、断熱等性能等級4以上を目標とする。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容:	・全棟地盤調査の実施 地盤調査証明書をグループ事務局に提出 長期優良住宅認定書をグループ事務局に提出	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある　→	内容:	・施主様に対して設計図書の提示と詳細見積書の提出を行い、わかりやすく説明し、確認同意を行う。 ・グループ事務局に設計図書、確認同意書の提出	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容:	・構造見学会の実施・・・構造見学会を開催することにより、奈良県地域認証材・奈良県産材が使用されていることを確認・開示する。 完成見学会の実施・・・完成見学会を開催することにより、「十津川郷土の家」の取り組みを広くPRする。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	■ ない	□ ある　→	内容:		
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない	□ ある　→	内容:		
	③ 社会保険への加入	■ ない	□ ある　→	内容:		
	④ 安全及び健康の確保のための取組	■ ない	□ ある　→	内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		林業地・製材所見学会の実施・・・林業地や製材所を住まい手に実際見てもらい、地域の森林の現状と地域材の活用の現場についての理解を促す。				○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）十津川郷土（さと）の家	（地域型住宅供給対象地域）全国
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）十津川郷土（さと）の家ネットワーク	（結成年）2008　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0224-0588	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：設計図書や必要書類をデータ化し、住まい手と共有する。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：設計図書や必要書類をデータ化し、住まい手と共有する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：引き渡し後の指定時期（1年、3年、5年、10年、15年、20年、25年、32年）に点検の実施を点検結果の履歴情報としての蓄積および指定点検完了報告を義務とする。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：10年目の住宅瑕疵保証が切れる前に点検を行い、以降の住宅メンテナンスを継続する。	○
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：10年目の住宅瑕疵保証が切れる前に点検を行い、以降の住宅メンテナンスを継続する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：住宅履歴情報を管理し、維持管理が適切かつ定期的に行われるよう努める。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：・OB様感謝祭等のイベント開催・告知 ・OB様宅への定期的な訪問 ・OB様への定期雑誌等の配達	○
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：・OB様感謝祭等のイベント開催・告知 ・OB様宅への定期的な訪問 ・OB様への定期雑誌等の配達	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：・OB様感謝祭等のイベント開催・告知 ・OB様宅への定期的な訪問 ・OB様への定期雑誌等の配達	○
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：住宅履歴情報の蓄積およびグループ事務局への点検完了報告書提出	○
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：住宅完成保証を推奨し、確実に引渡の遂行をする。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：10年目の住宅瑕疵保証が切れる前に点検を行い、その後の保険について住まい手と協議し、以降の住宅メンテナンスを継続する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			グループ内でのイベント開催・企画（奈良の木マーケティング協議会のイベントへの参加）年2回			○

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：・施工グループのうち長期優良住宅施工実績のあるメンバーによる施工現場での勉強会の実施　・設計グループのうち長期優良住宅設計実績のあるメンバーによる設計の勉強会の実施　・未経験者の疑問・不安に対する勉強会の実施	○
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：不良材が市場にでないように最終検査の徹底	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	■ ない	□ ある →	内容：	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：グループ内での勉強会の実技応答の内容を蓄積公開する。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：構造見学会・完成見学会をグループで参加し意見交換を行い、技術向上を目指す。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：各業種ごとの意見交換にて、共通資材の設定を行う。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数	13	今年度の参加目標人数	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数	13	今年度の参加目標人数	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：省エネ技術講習の実施日時をグループ事務局から配布	○
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：木造建築物において認定・認証のひつような設計・施工勉強会の実施 （施工・設計グループの認定低炭素建築物の申請について、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）について、建築環境総合性能評価システム（CASBEE）についての勉強会）	○
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：・グループ内での開発商品の提案を事務局に伝える。 ・提案商品のグループ構成員への告知をする。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			常に新しい技術等を導入するために、各グループ構成員新しい技術等をグループ事務局に報告・提案をする。			○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）十津川郷土（さと）の家	（地域型住宅供給対象地域）全国
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）十津川郷土（さと）の家ネットワーク	（結成年）2008 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0224-0588	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a ①	地域材利用に関する共通ルール（必須）	当ネットワークが掲げる「地域材」とは、奈良県十津川村産材による奈良県地域認証材とする。認証ラベルには、産地や樹種、寸法、含水率、強度と共にグレードが記載されており、工務店・建築主にわかりやすい製品になっている。	◎
a ②	地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
a ③	標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
a ④	地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	当ネットワークが掲げる「地域材」とは、奈良県十津川村産材による奈良県地域認証材とする。認証ラベルには、産地や樹種、寸法、含水率、強度と共にグレードが記載されており、工務店・建築主にわかりやすい製品になっている。	
b ①-1	地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：地域材は全て十津川村森林組合を経由するので、情報は集約化される。この情報を定期的な会議や、メール、FAXなどにて供給先に配信する。	○
b ①-2	地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：地域材は全て十津川村森林組合を経由するので、情報は集約化される。この情報を定期的な会議や、メール、FAXなどにて供給先に配信する。	○
b ②	グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：定期的な会議を行うことにより、数ヵ月先までの需要を見据え、効率的な伐採計画、製材計画を立て、供給していく。	○
c ①-1	畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
c ①-2	和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
c ①-3	襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
c ①-4	障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
c ②-1	その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：日本の地域に、従来からある和風の建物の街並みに溶け込むようにデザイン建築をしていく。	○
c ②-2	その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：日本の地域に、従来からある和風の建物の街並みに溶け込むようにデザイン建築をしていく。	○
d ①	地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：地域に合ったデザインを考え建築する。	○
d ②	地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：地域に合った住まい方を考え建築する。	○
d ③	地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：地域の街並みに合った外観・外構を考え建築する。	○
d ④	和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：畳の間を作り、畳での座卓の生活をしていただくよう推奨する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		屋根も構造を切妻の屋根を考え、外壁も塗りの外壁を推奨する。	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	7年前の十津川村の災害の復興に向け、災害に合った木材を家具、テーブル等に加工したり、建築資材に十津川村森林組合にて加工をして使用しております。26年度、27年度は、十津川村復興住宅をグループ内で手掛け、また本年度も新たに十津川村復興住宅をグループ内で手掛ける予定です。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	7年前の十津川村の災害の復興に向け、災害に合った木材を家具、テーブル等に加工したり、建築資材に十津川村森林組合にて加工をして使用しております。26年度、27年度は、十津川村復興住宅をグループ内で手掛け、また本年度も新たに十津川村復興住宅をグループ内で手掛ける予定です。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 十津川郷土（さと）の家	（地域型住宅供給対象地域） 全国
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） 十津川郷土（さと）の家ネットワーク	（結成年） 2008 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0224-0588	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

・主要構造材（柱・梁・桁・土台）の50％を奈良県十津川村産材を使用する。
供給業者の出荷証明書等、または奈良県地域認証材証明書・奈良県産材証明書の写しをグループ事務局に提出する。
建築物の特徴≫
える、産地にこだわる、木にこだわる木造建築
断熱・保湿など様々な特性を実感することで、潤いが生まれる。
う、内装材や造作材に加え、断熱材や木製サッシといったこれまであまり気が使われなかった部位にも十津川村産材を提案する。

・木材
≪木造住宅・
・木の良さを感じてもら
・木の温もり・癒し・調質効果・
・十津川村の木を身近に感じて頂くよ

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。